

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービス はなぐるま

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和 7年

1月

22日

法人（事業所）理念		・ 1人1人に対して丁寧な療育を行います。 ・ 家族に寄り添った支援を行います。 ・ 関係機関と連携しより良い支援を目指します。 ・ 福祉施設として地域に貢献します。							
支援方針		集団活動を通し社会性を育み、様々な体験を通して感性を養う。 1人1人の人間性の成長に目を向け、それぞれの個性を大切に育てていく。							
営業時間		10 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	<div>あり</div> なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの獲得（食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できる様に支援する。） 見通しを立てて行動できる様になる（タイマーを活用し時間を分かりやすく構造化する） トイレの一連の動作が1人で出来る様になる						等	
	運動・感覚	体操に参加する(姿勢保持や体幹を鍛える) 騒がしい場合には自分で暗室にいく事が出来る様になる(感覚の特性への対応、環境調整の支援) 色んな遊びに参加する(遊びの中で視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できる様支援する)						等	
	認知・行動	見通しを立てて行動できるようになる（片付けの時間等タイマーを活用し時間をわかりやすく構造化する） 安全に移動が出来る様になる(外部環境の適切な認知と適切な行動の習得) 皆と仲良く遊ぶことが出来る（脱自己中心性：他者の視点や感情を理解し、自分の視点と区別できるようになる）						等	
	言語 コミュニケーション	STによる訓練(対人コミュニケーション能力の向上。文章の音読、読解能力の向上。柔軟に考え他人との会話で意味のあるやり取りが出来る様になる。等) 他児との関わりの中で自分の気持ちをきちんと言葉で表現できるようになる 集団の中で人の話が聞けるようになる						等	
	人間関係 社会性	集団活動に参加する（集団への参加の支援）(人間関係の形成のサポート）（模倣行動の支援）（1人遊びから共同遊びへの支援） 他児との関わりの中で自分の気持ちをきちんと言葉で表現できるようになる（自己の理解とコントロールの為の支援） 色んな人と遊ぶ、話す(人間関係の形成）（仲間づくりと集団への参加） 感情をコントロールして相手に譲ったり合わせたりする事が出来る様になる(情緒の安定)						等	
家族支援		管理者による個別相談対応 (主に子育てや子供への対応に関する困りごとに対する相談援助) 預かりニーズに対応するための延長支援（7時30分～18時30分）				等	移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備の支援 (進学、就職時等) 買い物訓練や公園遊びの中で(地域)必要なルールや社会性を身につける。
地域支援・地域連携		学校等との支援方法や環境などに関する相談援助 ボランティアの受け入れ				等	職員の質の向上		毎月の研修実施 (・事業所の役割と方向性について ・職業倫理 ・感染症対策(BCP) ・専門的知識 ・防災 ・コミュニケーション ・接遇、マナー) 等
主な行事等		季節に合わせた行事（新年会、遠足、お花見、流しそうめん、夏祭り、運動会、クリスマス会 等） 買い物訓練(施設内で毎日のおやつ購入訓練、月に1度施設外での購入訓練や注文訓練 等) 外出(様々な場所に行き、感性を養う) 今まで行った場所（鍾乳洞(豊後大野)、みかん狩り(日出町)、杵築城(杵築)、お魚館(佐伯)、潮干狩り(宇佐市)、釣り(臼杵)、竹細工(別府) 等)							